

うに郷通信

No.84
平成28年(2016)6月



発行：宇仁郷まちづくり協議会 (編集:情報部会)

地域づくり活動応援事業「奨励賞」受賞

4月19日(火)北播磨県民局より、平成27年度地域づくり活動応援事業「奨励賞」を受賞しました。

北播磨県民局では現在、「生まれ育った北播磨」「暮らし続ける北播磨」を大切に思う心を育み、魅力を再発見し、内外に発信する取り組みを強めています。

私たち宇仁郷まちづくり協議会も、地域おこしの一環として「花畑街道コスモスまつり」を8回重ねてきていること、そして最近では400人前後が参加して実施出来るようになったこと、それが地域の活性化に一定の貢献を果たしていること、等を報告しました。

また従来のコスモスまつりは、協議会、区長会、役員会、老人会、女性会等が中心で、若者や子どもたちは自主的参加でしたが、地域づくり活動応援事業参加を機に、PTAや子供会にも積極的に参加を呼びかけ、ボランティア活動に協力してもらったり、相互のコミュニケーションをとっていく中でまつりが成功し、「故郷を大切に思う心」を育ててきた旨を報告し奨励賞を受賞しました。
(事務局)



義援金を届けました

去る4月14日午後9時26分に発生した熊本地震では、これまでに49人の方が亡くなられ、今も1人の行方が分かっていません。また、避難しておられる人は1万人余り、けがをした人が約1,600人、住宅被害は熊本県内で全壊、半壊、一部破損を合わせて約4万棟と報道されています。

早期の復旧、復興を図るため、総額7,780億円の補正予算が5月17日に成立し、仮設住宅の建設や道路などのインフラ整備に充てられるとのことで、私たちは1日も早く元の生活に戻れるよう願うばかりです。

そこで「宇仁の朝市」では、心からお見舞い申し上げますとともに、5月16日(月)に義援金を神戸新聞北播総局に届けて参りました。
(宇仁の朝市 繁田進作)

翠ヶ丘まちづくり協議会がタケノコ狩りを体験



若葉が目にも鮮やかな5月1日、翠ヶ丘まちづくり協議会から18人6家族がタケノコ狩りに来訪しました。午前10時の到着後、宇仁郷歴史資料館を見学し、八王子神社に参拝してから国正町にある玉井さんの竹林に移動しました。初めての方も半数ほどいましたが、何回か来ている方は道具持参で身支度も決まっています。

竹林にはいると残念なことに良い形のタケノコが至る所に倒れています。猪のしわざです。詳しい方の話だと猪はタケノコの根元だけを食べるそうです。

タケノコ掘りは見た目より難しく体力もいりますが、それでも子どもたちは懸命に掘り、あるお母さんは30分かけて見事なタケノコを掘り出しました。30本程度の収穫でしたが質の良いものは僅かでした。こんな事もあるかと油谷町の宇仁博文さんが40本ほど用意してくれていました。

予定時間を大分過ぎて終了しましたが、皆さん笑顔で帰路につきました。たぶん夕餉はレシビの交歓で、木の芽和え、天ぷら、タイカレー等々、宇仁のタケノコが食卓を飾ったことでしょう。



(事務局)

子育て支援センターだより



5月2日(月)19:30より、宇仁ふれあい館において28年度子育て支援センター発足と茶話会を実施しました。当日は、加西市の教育長、こども未来課長、PTA会長のご出席をいただき、支援センター9年間の思いと自己紹介を交えながら、1時間半をかけて懇談と意見交換を行いました。

28年度におきましても、3回の学童保育と4回程度の園舎整備を行っていきます。有志の方々のご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

(子育て支援センター)

油谷川ホタル観察会のお知らせ

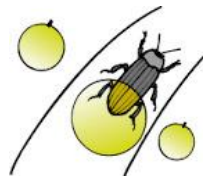
油谷川は近年土砂の堆積が進み、5月から6月にかけて一部で土砂の搬出作業が行われています。ホタルへの影響も少し心配ですが河川の本来の役割も大事です。

そんな中、時代時代の命をつないできた“宇仁のホタル”ガンバレ!

1. 観 察 日 6月11日(土)、12日(日)
2. 集 合 場 所 八王子会館前
3. 集 合 時 間 午後7時40分

昨年は油谷町高月橋から小印南町鑄物谷橋までの間で134匹でした。

(油谷川ホタル再生プロジェクト)



第1回加西薪能を見て

「播磨国風土記」に賀毛郡(かものこおり)として登場する加西市。名前の由来は、つがいの鴨が卵を生んだ地だからです。そこに書かれている地名に、神様が水を掘るのに飽きてしまった雲潤(うるみ)の里が宇仁地区であるエピソードも書かれています。中でも有名なのが玉丘古墳に伝わる物語「根日女と2人の皇子オケ・ヲケ」の恋物語。この地元の物語を未来に伝えようとしているのが“加西市こども狂言”です。



5月4日強風の中、第1回加西薪能が上演されました。新作狂言「根日女」の雷神役で熱演する宇仁の子がいました。腹の底から出る伸びやかな声。その所作は凛として美しいものでした。

今でも耳に残るのは ♪ めでたや めでたや めでたやな 芽でた 芽でた どの芽でた?

きれいなお花の芽が出たか? それとも… ♪

風に乗って夕焼け空に響いた明るい元気なお囃子です。 (宇仁郷まちづくり協議会スタッフの一人より)

“宇仁っ子” 集合!!

夏休みこども塾開催しまーす!!

8月9日(火)9:00~13:30宇仁ふれあい館において、夏休みこども塾を開催する予定です。長い夏休みの1日を、学生ボランティアさんのお兄さんお姉さんと一緒に里山冒険をしたり工作をして、スタッフの作った昼食を皆で楽しみませんか。

参加申し込み書を配布しますので、期待をして待っててください!!



(ふれあい交流広場)

宇仁郷歴史資料館だより ③-2 近世の宇仁郷

宇仁郷は1500年代に現在の集落がほぼ形成されたと考えられ、馬渡谷村(1587)、国正村、田谷村、大工村(1595)、油谷村(1605)、鍛冶屋村(1610)、奥山寺村(1646)が史実に現れてきます。

この頃になると開墾が進み人口も増え、国正村から五領新田が分村(1677)、鍛冶屋村から青野村が分村(1685)、田谷村から小印南村が分村(1717)し、宇仁郷は10村になりましたがその後明治10年奥山寺村と五領新田村は国正村と合併(1877)し、宇仁郷は現在の8町になりました。

この間、八王子神社随神門が赤松氏によって建立(1492)されましたが火事により焼失、赤穂藩郡代吉田忠左衛門によって再建(1693)、奥山寺の現本堂の建立(1687)、八王子神社現本殿の建立(1693)、奥山寺多宝塔が再建(1709)されております。

開館日 第1・3日曜9時30分~12時